

札幌トレセン大会報告書

2018. 1. 24

札幌4種技術委員会

<p>1、大会名・日程</p> <p>第18回∞G.A.Cheers Cup</p> <p>2017年12月22～24日 しんよこフットボールパーク</p>
<p>2、参加選手（ ）内は所属チーム</p> <p>神 晴翔・南 人晟・(石狩FC) 山田 遥斗 (AGGRE) 藤木 良馬・海野 遥樹 (L I V) 今野 眞翔・(SSS札幌) 中村 友哉 (スポルティング) 森 詩音・笹 修大・村山 琉依・米山 帆陽・庄内 航汰・川地一颯・村田 龍之介 (コンサドーレ札幌) 計14名</p>
<p>3、引率者名</p> <p>嶋田 雄二 (SSS札幌)、古賀 亮太 (クラブフィールズ)、浅沼 達也 (コンサドーレ札幌)</p>
<p>4、大会結果</p> <p>12月23日 (土)</p> <ul style="list-style-type: none">・東京ヴェルディ 1-1 (村山)・大宮アルディージャ 0-5・あざみ野FC 2-1 (山田・笹) <p>12月24日 (日)</p> <ul style="list-style-type: none">・ヴァンフォーレ甲府 3-5 (村上×3)・鹿島アントラーズつくば 4-1 (山田・庄内・南・村山)・新座片山 0-1
<p>5、成果と課題</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none">・攻撃の優先順位を意識することが出来ており、縦への意識が高かった。また、スペースを有効に利用しボールを引き出したり、飛び出したりと動きながらプレーしようとしていた。・どこでボールを奪うのか、誰がボールにアプローチをするのかといったことを素早く判断し、チャレンジ&カバーを行えるようになってきた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・複数の選択肢を持ったプレーを厳しいプレッシャーの中で行うためのオフの準備が遅く、また、自分の思った通りのプレーを実行するためのテクニックが不足しているために、ボールを失うシーンが目立った。・意図をもってボールを取りに行こうとし、狙い通りの形には持って行けたが、球際の強さや粘りが足りずに奪いきるシーンが少なかった。

